

1 パークマネジメントマスタープランの改定

- パークマネジメントマスタープランは、今後10年間における東京が目指す公園づくりの方向性を示すとともに、都民、NPO、企業等の多様な主体と連携しながら利用者の視点にたった取組を進めるための都立公園全体の整備・管理運営の指針
- 今回の改定は、「東京グリーンビズ」、東京都の長期計画「『未来の東京』戦略」等を踏まえ、令和6年度から令和15年度までの計画期間として策定

2 これまでの取組状況

既定のマスタープラン（平成27年改定）では、4つの視点からマネジメントを推進し、取り組んできた。

■都市の魅力をもつ公園



- ・ 上野恩賜公園における広場等の再生整備により良好な景観形成や回遊性の向上を実現
- ・ 民間活力を導入したレストランの設置等により新たな魅力やにぎわいを創出

等

■高度防災都市を支える公園



- ・ 非常用発電設備等の整備や防災訓練の実施等により避難場所としての機能を向上
- ・ トイレ等の改修や適切な管理を進め、利用者の安全、安心感を向上

等

■生命を育む環境を次世代に継承する公園



- ・ 練馬城址公園等の新規開園、既設公園の拡張を進め、緑の充実に寄与
- ・ 生物の生息空間の整備等やかいぼりの実施等により生物多様性保全に寄与

等

■豊かな生活の核となる公園



- ・ スポーツやこども向けのイベント等の取組により利用者の満足度では高い評価
- ・ ボランティア団体や地域住民等、様々な主体との協働による運営が定着

等

3 都立公園を取り巻く社会状況の変化

■緑の状況と生物多様性

- ・ 緑の量的な底上げと質の向上、生物多様性の確保と理解を深める取組が必要

■気象状況の変化や風水害・地震への対応

- ・ CO2吸収・固定源の確保や風水害対策、震災対策等の拡充と自助・共助の推進が必要

■多様化する社会や次世代を担うこどもへの対応

- ・ ユニバーサルデザインに配慮した施設整備や、こども目線を大切にしたい取組が必要

■健康への意識や屋外空間ニーズの高まり

- ・ 心身の健康づくりや身近なオープンスペースとして新たなニーズへの柔軟な対応が必要

■歴史文化の保全活用と観光の推進

- ・ 観光資源としての磨き上げと旅行者の受入環境の整備が必要

4 2040年代の都立公園の目指す姿

成長と成熟が両立した都市・東京の実現に向けて、都民の財産である都立公園のポテンシャルを更に引き出し、都市が抱える様々な課題の解決にも寄与していくことを目指し、「2040年代の都立公園の目指す姿」を目標として設定

「豊かな緑を育み、
次世代へとつなぐ公園」

東京の緑の骨格となって、多様な機能を最大限に発揮し、生物多様性や温暖化等の環境問題、地震・水害等の様々な災害への対応など、都市活動の基盤となる環境と安全・安心を確保しながら、緑と調和した美しい環境先進都市の実現に寄与

「東京の活力と魅力を高め、
まちづくりの核になる公園」

国際観光都市として国内外の人々を惹きつける公園の魅力を生み出し、まちの賑わいを創出するとともに、文化財庭園等の公園特性を生かした文化・芸術の創造発信や歴史の継承などにより、東京が誇る魅力に磨きをかけ、都市のプレゼンスを向上

「都民一人ひとりの
ウェルビーイングに貢献する公園」

多様性と包摂性に富む持続可能な共生社会の構築に向け、年齢や、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが心地よく過ごせる利用したくなる空間となり、人々の交流を育み、自分らしく生き生きとした日常生活の実現に寄与

5 目指す姿の実現に向けたマネジメント

以下の考え方を踏まえつつ、「まもる」「ふやす」「かえる」という3つの視点からマネジメントを推進

- ・それぞれの公園の個性を生かした多様な公園を創出するとともに、全ての公園の質を向上させ、都立公園全体の機能や価値を向上させていく
- ・まちや人々の暮らし等の変化を踏まえ、周辺地域や公園内の環境等との調和を図りつつ、都民ニーズを踏まえたアップデートに取り組んでいく
- ・都立公園を都民と共に創り、共に育てることで、より一層愛着が持たれ、広く親しまれる公園としていく

マネジメントⅠ **まもる**

東京の緑をまもるとともに、
都市の環境や安全、歴史と文化をまもる

マネジメントⅡ **ふやす**

東京の緑をふやすとともに、
まちの魅力と都民の幸福感をふやす

マネジメントⅢ **かえる**

多様なニーズに応え、
多くの人に必要とされる場所にかえる

マネジメント | **まもる** 東京の緑をまもるとともに、都市の環境や安全、歴史と文化をまもる**< 施策1 >
緑と環境を
まもる**

- | | | |
|------------------|--|---|
| (1) 公園整備による緑の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ・創出してきた公園の緑を健全に育成、丘陵地の緑を公園として保全・確保 ・雨水流出抑制に有効なレインガーデンの整備など、緑の有する多様な機能を向上 | 等 |
| (2) 生物多様性の保全と回復 | <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息環境を整備、順応的な管理を実施 ・動植物園による生息域外保全と生育域内保全に取組 | 等 |
| (3) 脱炭素に向けた取組の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の吸収・固定機能を有する樹林地等の植栽地の保全・整備を推進 ・太陽光発電設備の設置など再生可能エネルギーの活用を拡大、省エネ設備を導入 | 等 |

**< 施策2 >
安らぎを
まもる**

- | | | |
|------------------------|--|---|
| (1) 公園施設の整備・維持管理水準の底上げ | <ul style="list-style-type: none"> ・点検の徹底やきめ細やかな清掃、速やかな修繕など日常の維持管理水準を向上 ・長寿命化計画に基づく老朽化施設やインフラ設備の更新、多様なニーズに応える公園施設への改修を実施 | 等 |
| (2) 植栽の計画的な管理の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた管理目標や管理方法を定めた植栽計画を策定し、維持管理水準を向上 ・利用者の安全確保や樹木の健全な育成のため、樹木診断や剪定等の維持管理を実施 | 等 |
| (3) 安心して利用できる環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止等の利用マナーを向上 ・トイレ等への非接触型設備を導入、感染症発生時には利用ルール変更等を実施 | 等 |

**< 施策3 >
命と暮らしを
まもる**

- | | | |
|---------------------|---|---|
| (1) 地震防災機能の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園整備を推進し、避難場所や救出・救助・復興の拠点となるオープンスペースを確保 ・非常用発電設備、防災照明等を計画的に整備、更なる防災機能強化に向けた計画を策定 | 等 |
| (2) 風水害に対応する機能の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・広場の高台化など、まちづくり等の他事業と連携し、浸水に対する安全性確保に取組 ・土砂崩れの恐れのある法面等の適切な保護対策を実施 | 等 |
| (3) 災害時対応の円滑化と訓練の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体や関係機関と連携した地域住民も参加する防災訓練や防災フェア等のイベントを充実 ・避難場所等の運営を行う区市と基本協定を締結し迅速かつ的確な対応のため連携協力 | 等 |

**< 施策4 >
歴史と文化を
まもる**

- | | | |
|-----------------------|--|---|
| (1) 文化財庭園の保存・復元と管理の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・庭園の適切な保存と復元、計画的な修繕を実施 ・庭園の景観を構成する植栽の管理を充実 | 等 |
| (2) 歴史や文化を伝える公園整備の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文化的価値を継承し、緑を守りながら、将来の都民に引き継ぐため、利用しやすく楽しめる公園へと進化 ・史跡等の歴史的資源を適切に保存・活用 | 等 |
| (3) 歴史と文化の継承と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園の成り立ち等を伝える施設等を生かし、地域の歴史を発信・継承 ・農作業や歳事など地域の歴史や文化をこどもも体験しながら学べるプログラム等を充実 | 等 |

< 施策 5 >
公園を
ふやす

(1) 公園の拡張整備の推進

- ・新規公園の整備・開園や既設公園の拡張整備を推進
- ・政策連携団体の活用などにより用地取得体制を強化

等

(2) 多様な主体と連携した公園整備

- ・水と緑のネットワークの拠点となる公園の整備を道路や河川と連携し推進
- ・換地手法の活用など、まちづくりと連携した公園整備を推進

等

(3) 計画的・効果的な事業化

- ・都市計画公園・緑地の重要な箇所等を優先して事業化を進め整備効果を早期発現
- ・借地公園制度を活用するなど緑を保全しながら公園を整備

等

< 施策 6 >
にぎわいを
ふやす

(1) 特色あるイベント等の充実

- ・公園の魅力に光を当てる特色あるイベントを充実
- ・四季を通じた花と光の演出を行う「花と光のムーブメント」を充実させて実施

等

(2) 観光資源としての魅力向上

- ・動植物園施設の改修や展示内容の充実を推進
- ・案内サインの多言語化やトイレの洋式化など外国人観光客の受入環境を整備

等

(3) 情報発信や案内機能の強化

- ・多彩なコンテンツを継続的に発信し公園の魅力をアピール
- ・都立以外の庭園や文化施設等とも連携し、庭園文化の魅力等を発信

等

< 施策 7 >
笑顔を
ふやす

(1) 多様な過ごし方ができる
空間づくり

- ・多彩なベンチやデッキの整備などによる緑に囲まれて過ごせるポイントづくりを推進
- ・キャンプ場やバーベキュー広場の設置など、野外活動を楽しめる場や機会等を提供

等

(2) 健康増進に向けた環境の整備

- ・公園の特性や利用状況を踏まえた健康遊具の設置やウォーキングコースの設定等を実施
- ・既存運動施設の計画的な改修など、気軽に運動に親しめる環境づくりを推進

等

(3) 人と動物との快適な利用の促進

- ・ペット用設備の導入などによりペット連れ来園者も利用しやすい環境を整備
- ・ドッグランを適切に運用し、区市によるドッグラン設置に協力

等

< 施策 8 >
つながりを
ふやす

(1) インクルーシブな公園の創出

- ・「だれもが遊べる児童遊具広場」の整備を推進
- ・プレーリーダーを活用し「だれもが遊べる児童遊具広場」で子どもたちが遊べるイベントを開催

等

(2) 管理運営を通じた交流の促進

- ・パークミーティング等を通じて地域や多様な主体間のつながりの創出に寄与
- ・ボランティアへの参加機会の提供や幅広い世代が交流できるイベント等を実施

等

(3) 地域コミュニティ等の活性化

- ・管理所改築等の機会を捉え、天候を気にせず子どもたちが遊び、地域の人々が集い、活動や交流を生み出す空間の整備
- ・利用ガイド策定等により地域イベントや自主的活動の発表の場等として活用を促進

等

マネジメントⅢ **かえる** 多様なニーズに応え、多くの人に必要とされる場所にかえる

< 施策 9 > 施設や空間をかえる

- | | | |
|------------------------------|---|---|
| (1) 公園の魅力を高め
TOKYOの顔に | <ul style="list-style-type: none"> ・印象的な花の景観の創出とエントランスや園路広場等をリニューアルする「都立公園リフレッシュプロジェクト」を展開 ・ハード・ソフトの様々な取組を組み合わせることで公園の特色を際立たせ、魅力を更に向上 | 等 |
| (2) 誰もが使いやすく
楽しめる公園づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方に基づく施設のバリアフリー化を推進 ・バリアフリー日比谷公園プロジェクトの取組を横展開し、一歩進んだバリアフリー化 | 等 |
| (3) 多様なニーズに対応する
サービス施設の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・立地条件等をふまえ、地域や民間と連携したサービス施設を設置等を推進 ・既存売店・飲食店の見直しを行い、民間のノウハウを活用して魅力的なサービス施設にリニューアル | 等 |

< 施策 10 > 楽しみ方をかえる

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| (1) サードプレイスとなる
環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・軽量チェアやパラソル、マットや遊び道具等の貸出など、新たなサービスを提供 ・豊かな緑の中でテレワークや勉強等を行うことができる環境を創出 | 等 |
| (2) 夜間における
公園利用の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・花や緑、水等と組み合わせたプロジェクトンマッピングなど昼間と異なる楽しみ方を提供 ・夜間景観の向上が図られるよう照明設備を整備・改修 | 等 |
| (3) 新たな価値の創出と体験 | <ul style="list-style-type: none"> ・インスタレーションを取り入れるなど身近にアートに触れられるイベント等を実施 ・アーティスト等のパフォーマンスの場を提供し、多様な質の高いイベントを実施 | 等 |

< 施策 11 > 仕組みをかえる

- | | | |
|--------------------------|--|---|
| (1) 都民と進める公園づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃公園を利用している方々の生の意見を聴くことや、こどもが遊具の設計などに参加できるワークショップを開催 ・利用者が「やってみたい」と思うイベント等を募集し、利用者とともに実現 | 等 |
| (2) 公園運営を支える多彩な
手法の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・サービス施設の収益の一部が管理の質の向上等への還元につながる仕組みづくり ・都立公園サポーター基金等の活用などにより、公園への愛着を施設整備や魅力向上に生かす取組 | 等 |
| (3) 都立公園ブランドの確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設設計や植栽管理等に有識者が継続的に関与するなど、公園の将来の姿を見据えた一貫性のある整備・運営の仕組みづくり ・イベントの開催ルールなど個々の公園にふさわしい多彩なイベントが展開される仕組みづくり | 等 |

横断的な施策

戦略的広報

協働

リサーチ・マーケティング

デジタルトランスフォーメーション (DX)

多くの方の利用につながるよう分かりやすく情報を伝える戦略的広報、都民や自治会、民間事業者、NPO等の様々な主体との協働の推進、社会状況等の継続的なリサーチと利用者ニーズの変化等を的確に捉え応えるためのリサーチとマーケティング、デジタル技術の導入・活用について、各施策において横断的に取り組んでいく

6 パークマネジメントの推進に向けて

○パークマネジメントマスタープランで示した都立公園全体としての目標を実現するため、各公園の取組方針となる公園別マネジメントプランを策定

○PDCAサイクルに基づいたマネジメントサイクルを構築し、適切に進行を管理